

副理事長所信

副理事長 谷津 成昭

「個々の変革、共に歩み共に楽しもう!!～熱き仲間が地域の未来を創る～」のスローガンのもと、島内理事長より仰せつかり、一般社団法人笠間青年会議所 2014 年度の副理事長を務めさせていただき事になりました。50 周年を目前に控え、とても大事な 1 年となりますが、副理事長としての大きな責任を感じながら JC 運動を邁進していきたいと思えます。

私が 2007 年に入会してから、いろいろな経験や学び、気づきが得られました。そして、会議等で論じる事で終わらず行動・実践することこそが JC 運動であることを教えていただきました。歴代の先輩方から受け継がれてきた教えを活かし、一般社団法人笠間青年会議所に還元することが担いの一つだと考えております。また、理事長が掲げる基本理念・基本方針・スローガンを踏まえる事はもとより、委員会運営のアドバイザーとして、さらに理事長と委員会の橋渡し役として、私たちの JC 運動がより良く機能するために、執行部の一員として LOM 運営に努めて参ります。

私の担当は地域連携推進委員会です。近年の最重要課題である会員拡大は LOM メンバー全員が取り組むべき課題だと考えます。まずは、私たちが JC 運動の魅力を感じ、伝播していけるようにならなければ、その魅力を拡散することは出来ません。そのために必要なのが「本気」で事業に取り組むことが大事だと考えます。島内理事長の基本理念にあるように、「本気」で事業を起案し協議して事業を行えば、必ず新しい仲間が JC 運動の魅力を伝える事が出来ると思えます。また、これまで地区委員会として開催してきた事業を、笠間 JC 全体の事業として開催することをサポートしていきます。今まで先輩方が築いてくださった事業が地域を巻き込み、市民が参画、賛同してもらえるものとなりましたが、更なる「まちの魅力」を発見・発信するために LOM メンバー全員で参画することが必要だと思います。私たちが地域全体を巻き込んだ「本気」の JC 運動を展開し、「本気」で向き合う熱き仲間とともに学び、考え、歩みながら明るい豊かなまちを創っていきましょう。一年間どうぞよろしくお願い致します。

副理事長所信

副理事長 大嶋 繁利

本年度、島内理事長のもと一般社団法人笠間青年会議所、副理事長の大役を仰せつかりました。

思えば 8 年前、笠間 JC に入会した頃の頃は右も左もわからず只々先輩達の背中を追い続けるばかり。その後委員長などの役職を経験し、多くの出会い多くの事業に携わり、多くの学びを得ることが出来ました。

笠間 JC の大きな節目となる 50 周年を目前に控え、今こそ私の培ってきた JC 運動の経験を役立てる時が来たのではないかと感じております。

本年度は茨城ブロック協議会会長輩出 LOM としても実りの多い 1 年となるでしょう。多くのメンバーが笠間 JC の代表として対外に出向し、多くの経験や学びを LOM に持ち帰り、これからの笠間 JC の更な

る発展のために還元して頂ければと思います。しかし、LOMの事業に集中して動ける人員も少なくなるのも事実だと思います。例年通りの事業を開催するためには、メンバー個々への負担も大きくなることでしょう。そんな時だからこそ一層チームワークを強固なものにしなければなりません。

その中で副理事長の役割とは理事長の「本気」の想いを委員会に伝え、また委員長の「熱い」想いを実現させるためにはどうすればいいのかを考えながら委員会を見守って行く、言わば理事長と委員会の橋渡しの役割と考えております。

島内理事長の掲げる『個々の変革、共に歩み共に楽しもう!!～熱き仲間が地域の未来を創る～』のローガンのもと、青年会議所運動にやりがいを感じ、メンバー同士が協力し合い、意見し合い、個々が高い志を持って同じ目的に向かい、生き活きと楽しく活動できる、そんな環境作りを目指し、邁進していきたいと思っております。

担当委員会は総務・広報委員会を担当します。笠間JCの核となる総会、理事会の設営が主な活動になります。執行部、委員会と協力しあい様々な意見を取り入れ、基本方針にもあります「各会議の目的の再確認と効率化」に努めていきたいと思っております。

1年間副理事長として、奉仕・修練・友情のもと笠間JCの活動が更なる発展に繋がるように頑張ります。御協力の程、宜しくお願い致します。

副理事長所信

副理事長 飯村晃嗣朗

この度、社団法人から一般社団法人へと法人格を移行した記念すべき年に、島内理事長のもと、一般社団法人笠間青年会議所の副理事長を務めさせて頂く事になり、その責任の重さを感じております。

さて、私が務めさせて頂く副理事長の責務は、メンバー個々が青年会議所運動をする理由や意義を見出せるようにサポートすることにあると考えています。私たちの取り組んでいる青年会議所運動は、「恒久的な世界平和の実現」という理想の為に青年が率先して行動していく運動であります。行動をするということは、行動する為の理由があるはずで、「指示されたから」、「以前からこうだったから」という、人からやらされている受動的な対応は作業であり、率先した行動には当たらないと思います。JCという団体は、各々のメンバーが、私たちは何のためにするのか、何がしたいのか、その為に何をしなければいけないのか、そういったことをじっくり考え、明確に定義づけることのできる場であると思っております。私はそうした場作りを通して、メンバーの率先した行動をサポートしたいと思っております。

また、島内理事長の熱い想いを的確に感じ取り、多くのメンバーに噛み砕いて伝えること、そして私が担当する青少年育成委員会のメンバーをはじめとする笠間JCメンバーの想いを理事長にしっかりと伝えるパイプ役という役割を全うすることで、メンバー同士がお互いの行動に対し忌憚のない意見交換ができる風通しの良い環境を作りたいと思っております。

2014年度は、50周年を目前に控えた準備の年として、また茨城ブロック協議会会長を輩出するLOMとして内外ともに重要且つ大変忙しい一年になると思いますが、「本気」という理念を掲げる島内理事長のもと、待ちうける様々な試練を、笠間JCメンバー全員が本気となって乗り越えて行きましょう。最後まで皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

副理事長所信

副理事長 大和田博之

歴史と伝統を兼ね備えた一般社団法人笠間青年会議所の副理事長という名誉ある役職を与えていただいた事に感謝すると共に、その責任の重さを痛感し身の引き締まる思いで一杯です。

時が流れるのは早いもので、私が入会させて頂いてから6年という月日が経ちました。この間、運営幹事・副委員長・委員長も経験させて頂き、様々な気づき、学び、そしてたくさんの仲間を得ることが出来ました。『ローマは一日にしてならず』ということわざの通り、なんの苦勞もなく、要所だけをかいつまんで素晴らしいものを作る事は、不可能なことです。日々の経験から得られる知恵、そしてその知恵を活かした努力、更にはその努力から生まれる行動には、必ず良い結果が待ち構えていると信じています。

単年度制の青年会議所運動の中、それぞれに毎年違った役割があります。その役割に一生懸命取り組み、努力することによって、自己の資質の向上へと繋がり、メンバーそれぞれの成長が組織として、魅力的で存在意義のある一般社団法人笠間青年会議所へ繋がると考えます。

また担当委員会は経済人育成委員会です。私たちが青年会議所運動を行う上で、会社・家族・社員、守らなくてはならないものが数多くあります。そのためにも、私たち自身が一経済人として、会社の為、家族の為、社員の為、身の回りにあるもの全ての為に、学びを得る事が大切だと考えます。

50周年を目前とした今年、島内理事長の掲げる『個々の変革、共に楽しもう！！～熱き仲間が地域の未来を創る～』のスローガンのもと、一般社団法人笠間青年会議所にとって一翼を担う一人となれるよう全力を尽くしていく所存であります。理事長の『本気』の想いを委員会に伝え、委員長の『熱い』想いを実現させるために1年間精一杯頑張るつもりですので皆様のご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

専務理事所信

専務理事 米川 浩平

先輩諸兄から脈々と受け継がれてきた半世紀にも及ぶ笠間 JC が、50 周年を迎える準備の年でもある本年度、笠間 JC のメンバーが一致団結して行動するために、専務理事としてメンバー自らが率先して行動できる環境を整えられるよう、合理的で円滑な運営に注力したいと考えております。

本年度のスローガンにもある「個々の変革」こそが、地域社会の経済、文化の振興を活性化させると共にメンバーの資質向上に繋がります。なぜならば、笠間 JC のメンバーは全員が主役となり青年経済人として、社会経済・文化事業を地域に発信して行く事のできる人財が集う団体であると考えており、対外事業に参画した事が地域力を高め、個々の資質向上に繋がる事を体感してきたからです。私は専務理事として主役であるメンバー全員に対し、縁の下の力持ちとなり、JC 運動の情報をメンバーに発信して参加を促すことで 1 年間、共に歩み共に楽しめる LOM 運営になると考えております。

2012 年度から会計基準が変わり、新会計基準も浸透しにくい側面もありますが、私は、笠間 JC の活動を通して、新会計基準を学んで行く事が、青年経済人として必要不可欠であり、委員会が一丸となって取り組む事こそが大切な事であることを確信しております。その様な各関係機関を財政面からサポートする役割と笠間 JC の業務執行を決定する機関でもある理事会を進行する役割を持つ事務・財政局を担当致します。財審様式や理事会の運用、情報の発信について、明確な返答ができる事務・財政局として、情報の共有化を図り、局と連携して各関係機関を支援します。

最後に、本年度の基本理念にもあります「本気」で LOM を支える屋台骨として活動する所存ではありますが、メンバー一人ひとりの協力があって笠間 JC は成り立っています。私からお願いする事が多岐にわたると思いますが、50 周年に繋げるためにも、協力要請があった場合には快く引き受けて LOM を盛り上げて頂きますようお願い申し上げます。

会計担当理事(事務財政局長)所信

会計担当理事 江田 理

一般社団法人笠間青年会議所 2014 年度の会計担当理事を仰せつかりました。本年度は事務局と財政局が再度合併し、その両方の業務を行うこととなります。

まず事務局では、専務理事と協力しながら各書類作成、各メンバーへ連絡事項の伝達、対外的な事務手続きなどの仕事を行います。一般社団法人笠間青年会議所の全メンバーが情報を共有し、円滑に JC 運動を行うための助力を惜しまずに活動していきます。

財政局としては、メンバーの皆様からお預かりしました貴重な会費を、明朗かつ誠実に扱って行きたいと思っております。ここ数年、会員減少による予算の減少が問題視されております、さらに本年度は、当 LOM から茨城ブロック協議会へ会長を輩出するため、より慎重な予算編成を行う必要があると考えられます。対外事業への支援を行いながら、少ない予算でも良い事業が行えるように室長や各委員長の

熱い想いと費用対効果を考えて効率の良い予算編成を行っていきます。また、次年度への架け橋となるようしっかりと決算をとりまとめていきたいと思います。

事務・財政局は一般社団法人笠間青年会議所の華やかな事業などを行うことはありませんが、LOMにおけるJC運動の根幹を担う重要な組織だと考えます。本年度は理事長の「本気」という言葉を念頭に置きながら、局員全員が知識を蓄え、事務や会計のできる人財を育て、次年度以降へとつなげていけるように各関係機関と上手く連携を取り、一年間しっかりとした運営をしていきます。どうぞご協力の程宜しくお願い致します。